



南山田小だより

10月号

文責 校長 一木 高志

ゲストティーチャー

地域とともに歩むGT授業

本校では「地域とともに歩む教育活動」の一環として、地域の方々や各分野の専門家をゲストティーチャー(GT)としてお迎えする取り組みに力を入れています。

教科書を越えた「本物の学び」や温かいお人柄に触れ、目を輝かせる子どもたち。豊かな探究心と健やかな心を育む、かけがえのないGT授業のいくつかをご紹介します。



【クラブ】笑顔で交流! グラウンドゴルフ

9月30日(水)、4~6年生のクラブ活動に「南山田グラウンドゴルフ協会」の皆様をゲストティーチャーとしてお招きしました。

当日は、事前の会場準備からルールの解説まで丁寧にご対応いただきました。ラウンドが始まると、協会の方々々が各グループに優しく付き添い、クラブの持ち方や打ち方のコツを一人ひとりに合わせて丁寧に教えてくださいました。地域の方々の温かいサポートと励ましに背中を押され、子どもたちは「惜しい!」「上手!」と声を掛け合いながら、夢中でボールを追いかけていました。

地域の皆様が注いでくださった温かな眼差しとご指導のおかげで、子どもたちの笑顔があふれる楽しい交流の場となりました。



【学校の教育目標】主体的に学び、自らを鍛える児童の育成
【育成を目指す資質・能力】自己管理能力

【南山田小言葉】 **学ぼう** **語ろう** **自律しよう**

【6年生】地域の方から学ぶ戦争体験の話

9月18日(金)、6年生が修学旅行の事前学習として、地域にお住まいの宿理一郎さまをお迎えし、平和学習を行いました。

宿理さまからは、満洲(奉天)での過酷な暮らしや零下30度を超える極寒の中での苦難、そして命がけで豊後森駅へと引き揚げて来られた情景などが語られました。実体験だからこそ伝わる言葉の一つひとつに、子どもたちは真剣な眼差しでじっと聴き入っていました。

「戦争は、楽しかった記憶も含め、日常のすべてを壊してしまう。絶対にしてはならない」という宿理さまの強い想いは、子どもたちの心に深く刻まれ、平和の尊さを肌で感じる、かけがえのない学びとなりました。



【2・3年生】「ヘタでいい、ヘタがいい」心をこめて描いた絵手紙づくり

9月30日(水)の2・3校時、2・3年生がゲストティーチャーとして町内在住の竹尾きくみさまをお招きし、「絵手紙」づくりに挑戦しました。

竹尾さまからは、「ヘタでいい、ヘタがいい」という温かい言葉とともに、線の引き方や筆ペンの使い方を優しく教えていただきました。絵手紙で最も大切なのは、上手・下手ではなく「届ける相手のことを想って描くこと」です。

子どもたちは、サツマイモや栗、柿など、秋の味覚から自分で選んだモチーフをじっくりと観察しながら、真剣な眼差しで思い思いに筆を走らせていました。

完成したのは、相手を想うあたたかい気持ちがぎゅっと詰まった、世界にひとつだけの絵手紙です。添えられた言葉や描かれた線の一つひとつが実に味わい深く、見ているこちらの心まで温かくなりました。



ご協力いただいたゲストティーチャーの皆様、ありがとうございます。

めざす南山田っ子像 「笑顔であいさつ、一歩ふみ出す、ふるさと南山田っ子」

【校長コラム】心をつなぐ「あいさつ」の力 ～思いやりを届けるあいさつへ

日頃より、本校の教育活動ならびに児童の安全な登下校への温かいご支援とご協力に、心より感謝申し上げます。

「挨拶」という言葉には、「自らの心を開き、相手に近づく」という意味があります。単なるマナーや形通りの決まり文句ではなく、「私はあなたの存在を大切に思っています」という思いやりを届ける大切なサインです。

学校であいさつを大切にするのは、「互いを認め合う安心感(自己肯定感)を育むため」、そして「地域全体で子どもを守る温かなつながりをつくるため」だと考えております。

本校では児童会を中心に朝のあいさつ運動を展開しており、「あいさつ名人」を校内で紹介するなど、子どもたち自身があいさつを推進しています。

1学期には地域の方から「児童のあいさつがとても気持ちよく、元気をもらいました」と、わざわざ学校にお電話をいただいたこともありました。あいさつ一つが誰かの心を動かし、地域に温かい感動を呼ぶのだと、子どもたちの持つ

力に私自身も深く感心させられた出来事でした。

一方で、「学校や家を出たあとも、子どもたちは自分からすすんでできているだろうか？」と振り返ることがあります。

子どもたちの中には、「本当はあいさつをしたいけれど照れくさい」「タイミングが分からない」「どう返していいか分からない」と、自分から声を出せない子や一歩を踏み出せずにためらう子もまだ見られます。時には地域の方から「あいさつを返してくれない子がいる」というご指摘をいただくこともあります。

こうしたことも真摯に受け止めながら、「言われて行うあいさつ」から、すすんで心を開き「思いやりを届けるあいさつ」へと育てていくために、私たち大人に何ができるでしょうか。

学校、家庭、地域、子どもを取り巻くそれぞれのお立場で、一緒に考えていければと思っています。

愛校作業、ご協力ありがとうございました

9月10日(木)の夕方、たくさんの保護者の皆様にご参加いただき、愛校作業を実施いたしました。お忙しい時間帯にもかかわらず、学校と子どもたちのために汗を流していただきましたことに、心より感謝申し上げます。

当日は草刈り機や丁寧な手作業のおかげで、夏の間に草が生い茂っていたグラウンドが見違えるように美しく整いました。さっそく子どもたちは「走りやすい!」「広くなった!」と声を弾ませ、元気に体育の授業や外遊びに汗を流しています。

日頃より本校の教育活動を温かく支えてくださる保護者の皆様の存在を、大変心強く、頼もしく感じております。皆様の温かいご協力に、改めて感謝申し上げます。



これからの予定

10月15日(木) オープンスクール

17日(土)～18日(日) 九重ふるさと祭り

18日(日)～19日(月) 6年修学旅行

29日(木) 秋の遠足

11月 1日(日) げんき祭り

14日(土) 学校文化祭

10月18日(日)からの修学旅行に向け、6年生は現在、現地学習のための事前学習に真剣に取り組んでいます。

先日の平和学習で宿理さまから受け取った「日常のすべてを壊す戦争を、絶対にしてはならない」という強い想い。子どもたちはその言葉の意味を一人ひとりが深く胸に刻んでいます。

地域で学んだ尊い「平和のバトン」を携え、長崎でさらに学びを深めてきます。

【学校の教育目標】主体的に学び、自らを鍛える児童の育成
【育成を目指す資質・能力】自己管理能力

【南小合い言葉】 **学ぼう** **語ろう** **自律しよう**